

宮城県防犯設備士協会の紹介

宮城県防犯設備士協会 会長 三瓶 満



新年明けましておめでとうございます。

皆様には健やかに新年を迎えたことと心よりお慶び申し上げます。

宮城県は東は太平洋に面し、日本三景のひとつ松島をはじめとする観光地に恵まれ杜の都 仙台を県庁所在地に擁する県です。さて、東日本大震災から早くも5年が経過し、被災地宮城も全国の皆様より頂きました心温まる励ましによりおかげさまで復興の道を速めております。

心よりお礼申し上げます。

■宮城県の犯罪発生の特徴

- 1、刑法犯認知件数は17,742件で、前年対比で-888件(-4.8%)と大きく減少し、平成14年以降14年連続減少となった。
- 2、空き巣や忍び込みなどの侵入盗は1,924件で前年比で+70件(+3.8%)増加した。
- 3、オレオレ詐欺などの特殊詐欺は350件(被害額約10億3551万円)発生し、前年対比で125件(+約2,559万円)と大幅に増加した。

■当協会の概要

本会は会員相互の緊密な連絡協調及び警察との連絡を図り、防犯設備等の設置及び保守点検等に関する指導及び啓発を行うことにより犯罪等の未然防止を図り、もって地域の安全に寄与することを目的に宮城県警本部のご指導の元、平成9年5月に設立し、平成28年現在、法人会員38社、個人会員1名、特別会員7名で構成されております。

■本年の活動状況

1、安全安心まちづくり活動への積極的参加

警察及び防犯協会等と積極的に連絡調整を行い地域・職域における防犯意識の高揚と自主防犯活動の推進を図るため全国地域安全運動宮城県大会へ参加しました。



2、防犯診断並びに安全対策の実施

日常の業務を通じて防犯設備士としての知識と技能を生かしマンション・住宅・ビル・店舗・街頭等に対する積極的な防犯診断を実施し、犯罪等が発生しにくい環境づくり活動に取り組んでいくため宮城県防犯診断競技大会への後援及び診断大会での審査委員を派遣しました。



3、障害支援者施設向け不審者対応訓練への参加

平成28年9月神奈川県相模原市の事件発生に伴う緊急訓練に不審者の侵入を防止するために有効な防犯性能の高い防犯設備機器(防犯カメラ・CP錠侵入センサー・強化ガラス等)の展示及び説明員の派遣、協力を実施しました。

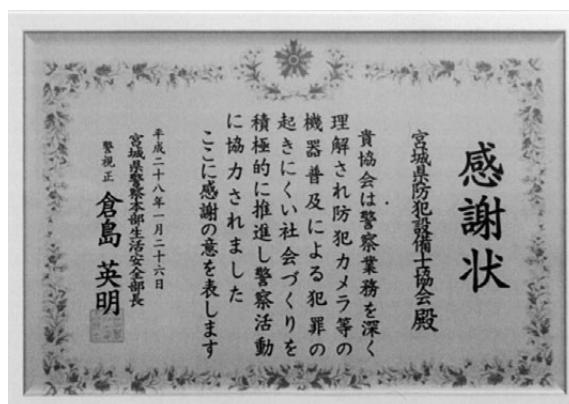


4、防犯カメラの設置及び運用に関する有識者会議への委員の派遣

平成28年4月宮城県環境生活部長依頼により県内で普及が進んでいる防犯カメラの有用性とプライバシー保護との調和を図り防犯カメラが適切かつ効果的に活用できるようにするため防犯カメラの設置者が配意すべき事項を定めたガイドラインを策定し10月1日より、宮城県のホームページ上に掲載されました。

5、宮城県警察本部から感謝状を受賞

平成28年1月26日宮城県警察本部生活安全部倉島英明部長より防犯カメラ等の機器普及による犯罪の起きにくい社会づくり警察活動に協力したことが認められ感謝状を受賞しました。



以上のように当協会は宮城県警察本部及び宮城県との連絡協調を図り活動しております。

■今後の取り組みについて

1、地域住民に対する実践型の研修及び講習

地域住民に対し、防犯設備機器を用いて実践的防犯教室等を開講し、防犯意識の高揚と防犯優良建物品の普及を促進する。

2、防犯優良マンション認定制度導入への協力と研究

新規及び既設マンション・アパートに対して、各関係機関とも協議連携を図りながら防犯設備士としての防犯診断を実施し、防犯優良マンション・アパートとしての認定が受けられる制度導入への研究協力をする。

3、日本防犯設備協会等との連携活動

公益社団法人日本防犯設備協会の特別会員、また防犯設備の専門集団として、各地域の協会とも情報交換しながら当協会の防犯活動を活性化させていきます。

以上の取り組みを実践するべく活動致しますので、今後とも関係諸団体の皆様の一層のご指導を頂きます様、宜しくお願い致します。

安全・安心な社会づくりをめざして



一般社団法人 熊本県防犯設備協会 会長 坂本 英治



1. 熊本県の紹介

熊本県は九州の中央部に位置し、人口約180万で熊本城、阿蘇山、天草の海そしてクマモンがよく知られています。

2. 協会の紹介

当協会は「安全・安心な絆社会の確立」を理念として掲げ、平成24年に設立し、5年目を迎えてます。現在会員数は38の法人・個人で構成しています。また熊本県並びに熊本県警察本部の後援を受けて、様々な取り組みを実施して熊本県の安心社会構築の一翼を担っていると自負しております。

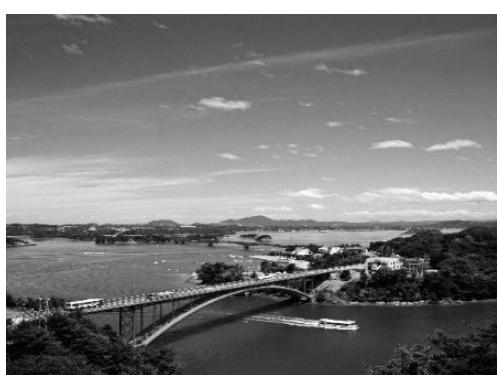


熊本城

- 1、平成24年2月 任意団体として設立。
- 2、平成25年7月 一般社団法人へ移行
- 3、平成24年9月 防犯設備アドバイザー制度のスタート
- 4、平成25年7月 熊本県くらしの安全・安心アドバイザー及び事故防止アドバイザーの委嘱を受ける
- 5、平成27年2月防犯優良住宅認定制度の制定・スタート
- 6、平成27年10月熊本県・熊本市の(物品・役務)の指名業者となる
- 7、平成28年11月熊本地震被害への支援に対して県知事より感謝状の贈呈を受ける



阿蘇山



天草五橋

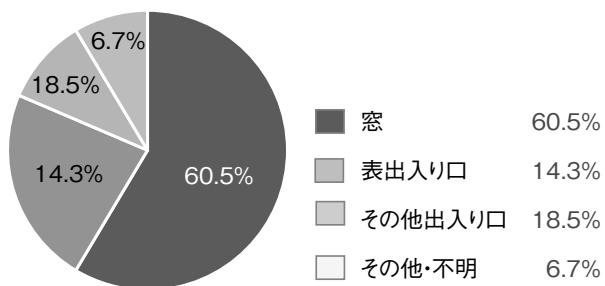


阿蘇山

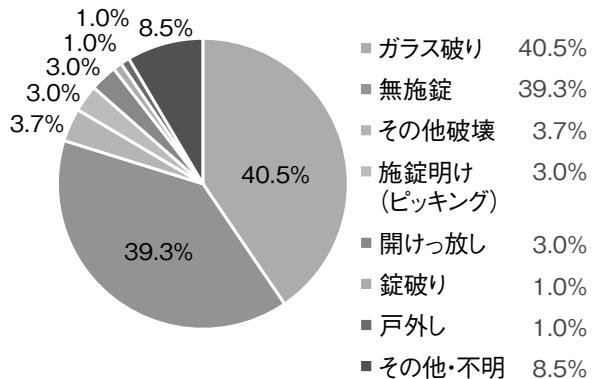
3-1. 侵入犯罪事情

H27年熊本県の実態

①進入経路(例:一般住宅)



②進入経路(例:一般住宅)



4. 私たちの活動状況について①



ショッピングセンターでの防犯キャンペーン

3-2. 進入犯罪と風土について

熊本県は政令市熊本市を中心に東に九州山脈・西に有明海・八代海があり、自然豊かな地域です。県民性はおおらかであり、地域の絆は深いと思いますが高齢化・人口減少等により人の目での見守りが少なくなってきた事を実感しています。

防犯相談等で状況を伺ってみると玄関・窓等は開けっ放しにしている状態が散見されます。侵入窃盗認知件数の中で侵入経路①でみると出入口・開口部が多くを占めています。侵入経路②ではガラス破り・無施錠が多く、ともに約80%となっています。侵入犯罪自体は減少していますが自主防犯意識は低いことが顕著です。

また、地方にありがちな公的予算が少なく対策が遅れている現状です。近年、警察・自治体・防犯団体等で啓発活動を強化していますが全般的にホームセキュリティ・防犯カメラはもちろん街灯も少なく防犯対策及び啓発活動が今後の課題であるといえます。





全国地域安全運動中の防犯啓発活動



平成27年度防犯設備アドバイザー 委嘱式



地域祭りでの防犯機器展示



小学校の防犯訓練での講話状況代表理事

5. 私たちの活動状況について②

地震被害避難所への安全・安心見守りカメラの設置



(株)プロテック様 機器提供



(株)ケルク電子システム様 機器提供



TOA(株)様 機器提供



代表理事 視察状況



当協会 機器設置(他6台)

6. 今後の活動の課題と取組みについて

協会活動の活性化

1、会員の拡充と募集の実施

- ①防犯設備士試験への勧誘強化(HP等による)
- ②県内在住の防犯設備士の入会促進(HP等による)

2、事業収入の拡大

- ①セキュリティ・集合、ホーム認定事業の促進
- ②自治体よりの受注(カメラ・街灯等の受注及び保守)
- ③防犯カメラ設置の提案及び機器等の寄贈

3、防犯設備アドバイザーの積極的な派遣

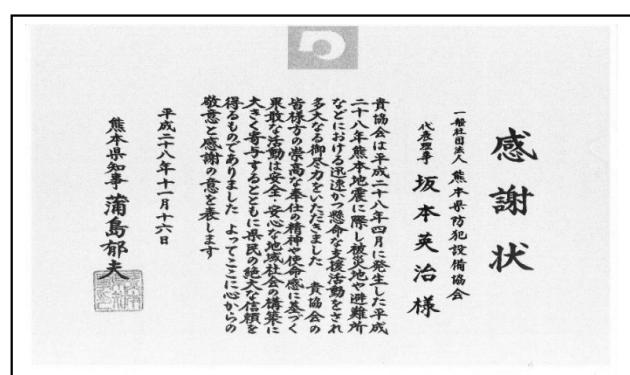
- ①「安全・安心くまもと」実現のための熊本県・警察本部との連携の強化
- ②防犯診断・セミナーの年間開催の拡大
- ③被災地の仮設住宅居住者への防犯相談の実施

7. 皆様へのお礼と今後の活動方針について

平成28年度熊本地震被害に際し、多大なお見舞いと励ましを頂きました、日本防犯設備協会様、総合防犯士会様、東京都セキュリティ促進協力会様、福岡県防犯設備士協会様、また、機器提供頂きました、プロテック様、T O A様、ケルク電子システム様、並びに全国の地域協会の皆様方には深く感謝申し上げます、有難うございました。

最後に、今回の大きな地震で被害を受けた地域の避難所も多く回りました。今後仮設住宅等の地域防犯対策をどうすべきか、また、そこで私たちが何ができるか、何が必要なのかを協会全体で考えています。

先日、被災地の防犯相談に赴いた際、解体が進み仮設住宅へ移られていている人が多く残っている方々は不安を抱えていました。私達は、防犯ボランティアとして、建物防犯のプロとして警察・自治体・防犯関連団体との連携を強化し取り組んでまいりますので今後とも宜しくお願いしまして寄稿文と致します。



11月16日に頂いた熊本県からの感謝状